

鳥取の住宅寿命と人々の安全を守る ～DX推進による正確で安心な住宅点検を実現～

“鳥取で一番鳥取の人々を幸せにする”をビジョンに掲げるヤマタグループは、住宅事業を中心に展開し、鳥取に住まう人々の暮らしの総合サポートを行っております。地元の企業として、新たな価値を創造しサービスの向上を目指すためには、DXの推進が重点課題の1つです。その中で、アフターメンテナンス業を行う株式会社ヤマタライフサポート（鳥取県鳥取市千代水2丁目130番地）は、DX推進により従来の住宅点検サービスよりも迅速・安全・性格な点検サービスをご提供いたします。

【メンテナンス領域におけるDX推進の背景】

ヤマタグループは地域社会の課題解決に貢献することが、地元企業として大切であると考えます。現代社会の課題は多岐にわたり、鳥取県などの地方は以下のような課題が顕著です。

「地方の社会課題」

- 若者が都市部へ流出することによる地方の人口減少
- 全国的な出生率の低下による人口減少、少子高齢化、労働人口の減少
- 地方経済・インフラの衰退化
- 経営者や職人などの後継者不足
- 空き家の管理問題 …

当グループは建設業を事業活動の中心とし、住宅のメンテナンスや公共工事などを行うため、暮らしを支えるインフラの整備は取り組むべき課題です。その中で、当グループ会社の株式会社ヤマタライフサポートは、定期的な住宅点検やメンテナンスを行い、地域の暮らしを支えるために取り組んでいます。

しかし、住宅のメンテナンスや点検においても「高所での作業における事故の危険性」「人材不足で対応可能件数に限りがあること」など多くの課題に直面しています。

厚生労働省の調査資料によると、「建設業の死亡者数、死傷者数は、ともに「墜落・転落」が最多。全数に占める割合は死亡者数：41.3%、死傷者数：31.6%」となっています。さらに、総務省統計局の労働力調査によると、建設業就業者は“平成9年の685万人から令和2年には492万人まで減少”となっています。

【参考】

- ・厚生労働省 「令和4年労働災害発生状況の分析等」 職場の安全サイト
<https://www.mhlw.go.jp/content/11302000/001099504.pdf>
- ・国土交通省 「最近の建設業をめぐる状況について【報告】」
<https://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/content/001428484.pdf>

こうした地域社会や業界の課題に対して、地方のDXの推進は重要となります。先進技術を活用し作業効率を上げることで人材不足に対応し、新たな取り組みや価値を生み出すことが地域の魅力向上にもつながっていく

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

株式会社 広報担当 鈴鹿 TEL：0857-30-0006 MAIL：info@yamatagr.com

ます。DX 推進の一環として、株式会社ヤマタライフサポートはメンテナンス領域にドローン技術を活用し、より正確で安全な住宅点検を提供していきます。

【DX 推進およびドローン技術活用のメリット】

「住宅点検における DX 推進のメリット」

- 安全性の確保、事故率の低減
- 点検コストの削減による対応可能件数の増加
- より精度の高い点検が可能

DX の推進は、人員の削減と作業効率の向上につながります。その結果、対応可能件数の増加、事故率の低下などが期待できます。今後の鳥取県は、労働人口の減少にメンテナンスの必要な住宅が増えていくという課題が重なってくるのが予想されます。人命を守るための安全性確保、建設業のイメージ向上や地域課題の解決など、多岐にわたる課題に対してドローン技術活用などの DX を検討し、取り組んでまいります。



【ヤマタグループについて】

ヤマタグループは、住宅事業を中心にリフォーム、不動産、アフターメンテナンス、ライフスタイルショップ（カフェ・雑貨）と展開し、鳥取の人々の暮らしを総合的に支えることのできるグループへと成長し続けていきます。お客様の生涯に寄り添うことで、長く安心や幸せを届け笑顔になってもらうこと。当グループで住宅を建てていただいた感謝と責任をもち、アフターメンテナンスやライフスタイルショップなどを通してお客様に長く寄り添い続けることで、安心して快適な生活を送っていただけるように心がけております。

地元根差し、鳥取に住まう人々の暮らしに安心と安全をお届けするために、今後も技術の革新と向上に努めてまいります。

【グループ・会社概要】

社名：株式会社ヤマタライフサポート

本社所在地：鳥取市千代水 2 丁目 130 番地

代表取締役：山田雄作

事業内容：住居や事業所の清掃・クリーニング業務、住宅のメンテナンス、空き家の管理、リフォーム

設立：2016 年 3 月

ヤマタグループ HP：<https://www.yamata.co.jp/>

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

株式会社 広報担当 鈴鹿 TEL：0857-30-0006 MAIL：info@yamatagr.com